



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために  
1980-81 R.I 会長 ロルフ .J. クラリッヒ

第 120 回 例会 55 年 11 月 6 日 (木) 晴 第126号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
36名	30名	83.33%	100%
欠席者 芦田, 蜂屋, 後藤, 伊藤(正), 竹之内, 辻			

亀谷会長テーマ 全人類に愛と善意を

司会 SAA 北砂 富三君

ソングリーダー 中西 功君「君が代」「我等の生業」

## ピジター

橋本昌明君(綾瀬), 仁科真人君, 木我寛君, 山本忠夫君(横浜瀬谷), 星幸夫君(大和)

## 会長報告

- 1.ガバナーの公式訪問に当り例会及びクラブ協議会に全員の出席があり、ガバナーより例会に出てみて皆さんの横のつながり、そして熱意のある姿が脈々と伝わって来て、言うことがないとおほめの言葉をいただきました。これは本当に皆様のお陰だと思えます。感謝の意を表明致します。
- 2.新会員の紹介。 国方さんをご紹介致します。紹介者富沢幹事「国方隆さんは南林間で榊林間と言う会社の社長でいらっしゃいます。造園よりはじめ、今は補装工事関係を主にやっております。私の中学の一級下ですが、勉学に、運動に非常に優秀な方で、湘南高校を出て、早稲田大学を終えて、現在の仕事についておられます。5～6年前より16日会という経営者の会があり私と一緒にそこで大役を果してこられました有

望な方ですので仲よくやっていただきたいと思っています。」 国方氏「国方隆です宜しくお願ひ申し上げます。私のような者が、このように伝統のある立派な会に入れていただき有難うございます。先輩の寺田さん、富沢さんのおすすめで入れていただきましたがこれから宜しく、ご指導の程お願い申し上げます。仕事は公共の造園の仕事と、補装工事を行って居ります。趣味は仕事とゴルフですが、この方でもお付合いの方宜しくお願い申し上げます。

- 3.横浜北RCのバナーが贈られました。(回覧)
- 4.図書購入の依頼。 学校法人尚志学園長、佐藤信氏(郡山RC会員)著、愛と感動の記録「人づくり教育」私も読みましたが、大変よい本だと思いますので若し入要の方がありましたら申込んで下さい。(回覧)
- 5.平塚RCより記念誌「20年の歩」という図書が贈呈されております。(回覧)

本日のプログラム 11月13日  
卓話 永野 清治氏(大和RC)

次週予定 11月20日  
「損保に強くなる話」 北砂 富三君

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40  
及び 大和市商工会館内  
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より  
会長 : 亀谷 志郎 副会長 : 伊藤 正男  
幹事 : 富沢 重徳 会報委員 : 有沢・長谷川・藤田

## 幹事報告

特にありませんが、本日は卓話の時間にクラブフォーラムを行いますので30分間までの延長が認められておりますので、時間的にそのように協力をお願い致します。

## 委員会報告

### 雑誌委員会

佐藤委員長

10月24日地区雑誌委員長会議がありました。ロータリー友の会の副委員長の清瀬さん、編集委員長の川崎さん、その他関係の役員の方の出席で、ロータリー友の会の構成と、編集方針についての説明がありました。ロータリー友の会は常任委員会、正副委員長、特別顧問、常任委員で構成され、毎月ロータリーの友について、協議して決定執行されています。又合同会議というのがあり、これには常任委員会に、顧問と地区委員が加わり隔日ごとに協議されています。ロータリーの事務所では、委員会の決定にもとづいて、編集、発行、配布の一切の業務を、男子5名、女子6名計11名で行っています。来年4月号には当地区の地区便りを載せることになっていますので他の地区で参考になる記事がありましたら取材したいとの要望がありました。次にロータリーの英語版を年2回発行するので日本のロータリーの活動を知ってもらうためにも外人や知人に送ってもらいたい。会員の1割は購入してもらいたいとの要望がありました。一部500円です。

### ゴルフ委員会

近藤会員

第6回親睦ゴルフコンペを11月30日(日)に、藤沢ゴルフクラブで行います。出欠表を回しますのご記入をお願いします。

### 親睦委員会

鈴木委員長

12月6日の大和RCとの合同例会について今晚打合せを行い来週にその方法をお知らせ致します。今年は変った趣向をしたいと思い、親睦委員の間で協議されていますが、時間のこともあるので、来週発表することが出来ると思います。

## クラブフォーラム

### 国際奉仕について

上田国際奉仕委員長

本日のクラブフォーラムは、国際奉仕という、大きなテーマであり、前年度5回にわたり行われた、小堀先生の卓話から要約させて頂き、ロータリーに於ける、国際奉仕という部門の輪郭をつかみ、当面の課題とされている、世界社会奉仕、(WCS)に焦点を合わせ討論に入って行きたいと思います。ロータリーとは(小堀氏の卓話より)何んぞやについてお話しすると、1905年(明治38年)ポールハリスらが友人と語り合って始められた、経緯についてはご存知の通りで、当時のシカゴの町には、心の拠り所となるものはなく、特に実業人の競争は醜いものであり、彼等は教会に救いを求めようとしたのですが、教会でもすでに、物流機構に流されてしまったのです。一つの職業から一人を選べば、職業上でのライバル意識で悩まされることもなく、打ち解け易いであろうという事で相い求め合ったのです。(一業一人制)そして先ず物質的な面でお互いに助け合い、やがて精神的なものへと発展していったのです。1910年(明治43年)頃になり、シカゴクラブも大きくなり、しかし、一業種一人制ですから誰でも入会することが出来ませんから、結果として、所詮は一握りの職業人のエゴの集団ではないかと、見られるようになって参りました。そこで当時のロータリアン達は、思い悩んで、一業種一人制はよいとして、お互に助け合うのも結構なことであるが外に向って我々の親睦のエネルギーを、世のため人のために活動しようではないかと考え始めたのです。これが今日のロータリーが掲げている奉仕の原点であったのです。

1927年以前のロータリアンは、現在我々がクラブ内で行っていることを含めて、クラブ親睦と呼んでいたのです。我々は例会場で何を得るのであるのか!。親睦のエネルギーとは何か!。自分の業界では得ることの出来ない自己研鑽を修得し、そしてその自己改善のエネルギーが例会場を、離

れた次の瞬間に自分の管理している企業においてその地域社会における人間関係を改善することの出来るエネルギーである。これがロータリーのロータリーたる所以であります。ロータリアンは例会場において奉仕の心を作り、しかる後に他の諸々の社会環境のなかで奉仕の実践に励むこと。

1927年以降クラブの中でクラブ事業計画にそって地域社会奉仕を行っていかうという事になって来て、これが社会奉仕委員会となったのです。その効果が外国であるものを**国際奉仕**、自分が直接の管理者である企業、並びにその周辺の世界において、人間関係を尊重する故に、自由競争の最中にありながら、自由競争の圏外に立ち、安定して発展させる知恵のことを**職業奉仕**と呼んだのです。1914年第一次世界大戦に際し難民の救済なども行われていますが、一方個々のロータリアンはそれぞれ異なった国籍を持っており、その対応もまちまちであったようです。この奉仕活動が**国際奉仕**であります。戦争とは何か、この事にポール・ハリスは心を砕いており有名な言葉を残しております。“国家は戦争を行うがゆえに罪悪である”と。奉仕の実践活動のパターンは**個人奉仕**であります。やる気のないロータリアンを教育するためにクラブ計画が存在しています。戦争が起こると起こるまいとに拘らず、我々ロータリアンの関係している地域のすべての人達と手を取り合って、戦争を防ぎ、世界平和の確立に寄与することは出来ないものであろうかとの考えから**1921年エジンバラ大会**に於て、この事が決議されロータリー綱領の(4)に述べられ、1951~53年世界平和を目的とした、**国際奉仕の実践**が討議され、個々の会員の責任として(手続要覧P. 114) 8項目に亘って述べられております。小堀先生はこれを簡潔にし、4つの項目におきかえ述べられました。

①夫々のロータリアンは自国の持つ諸々の国家的伝統を世界で最も立派なものとして認め誇りを持つべきこと。

②自国の伝統を自負するのあまり、他国のものに対して、優越感に溺れてはならないこと。

③謙虚に首をたれ、他国民の意見に耳を傾ける

こと。

④**国際奉仕**ということでも**個人奉仕**でなければいけないこと。

最近是国家ということよりも**地球を一つの地域社会**として捉えようとの考え方が生れて来ました。しかし、ここに一つの問題があります。それは**貧富の地域差**であります。これを無くすこと、それには、ロータリアンが**個人奉仕**の型で参加し、彼等に自立心を与える必要がある。このような奉仕の実践パターンは**1968年世界社会奉仕**として、エバンス会長によって提起された。これがWCSの芽生えであります。それをさかのぼること7年、1961年東京で世界大会が開かれ、インドのラハリーRI会長が、持てる国、進んだ国、学問の長けた国、そういう国々のロータリアンの援助を借りて、持たざる国、開発途上の国、貧乏や無学に悩む国を援けようと呼びかけたのが世界社会奉仕活動の芽生えでありました。

さて**世界社会奉仕(WCS)**とは

〔これより上田委員長は、①世界社会奉仕の意義、②世界社会奉仕の試み(中小企業研修会、ロータリー海外奉仕篤志家プログラム)、③どういう順序でWCSを取りあげるか、④実施する上での注意事項、⑤WCSの実際の消化情況、⑥WCSの第259地区における現況、⑦熱心なクラブとそうでないクラブの格差について、⑧当地区におけるWCSの活動の具体例、⑨1980~1981年度地区WCS委員会の提案、⑩資料室プロジェクトリストについて。〕

以上のことについてくわしくお話になりましたがすでに今迄会報で世界社会奉仕についての地区小委員長の岩宮氏の卓話で、又上田委員長の世界社会奉仕計画についての地区合同会議報告又は委員会報告などで取り上げて記載してありますので会報をご参照お読みになっていただきたいと思ひます。したがいましてこの部分は割愛させていただきますのでご了承下さい。〕

さて**WCSプロジェクトNo.1108の実施**についてのご意見を皆様にお伺いしたいと思います。亀谷会長予算の都合でこの計画には本年は参加出来ま

せんが、又中国留学生の問題も下半期、真剣に取り組んで行きたいと思って居りますので、結局これらの問題は次年度に繰込むわけで、或る程度目どがついたら参加したらよいと思います。上田委員この問題以外にご覧に入れた小規模計画の中でこんなものも出来るのではないか等の意見がありましたらお知らせ下さい。郡司委員是非一つくらいはやった方がいいと思います。良い悪いは別として、やってみることが必要ではないでしょうか。出来るだけ協力してやるべきだと思います。中西会員インドシナ難民関係の目どはいかがでしょうか。上田委員3ヶ月ごとにどんどん交代で入って来ますから、当分続いていくと思わなければならないでしょう。中西会員2つのプロジェクトを抱えて行って、それが両方とも、充分に出来るかどうかが出てくると思いますが。上田委員WCS 1108は援助するのがお金で10万円ということがはっきりして居ります。これはクラブの中で始めから何らかのかたちで賄えることが出来ればいいのではないかという考え方もあります。長谷川会員今の問題とちょっと話が変わりますが、ロータリー財団、米山奨学金等、ロータリーの歴史の中でかなり実績をあげていると言っておりますが、どうしたとか、このお金のつかい方についての報告はなされて居りません。このことを考え、WCSの方は10万円ですから、やること自体は問題はありませんが、目に見えないところでどうなっているかわからぬことの無いようにしてほしいと思います。上田委員よくわかります。このような矛盾がよくあるようでございます。この点星先生のご意見をお伺いしたいのですが。星会員(大和)長谷川さんの意見ですが、たしかに会計の報告が出て居ないようです。米山に関しては、正式のものではありませんが地区の米山委員会まで来ているようですが、実際には、はっきりしたものではないと思います。WCSについてはかなり批判的な面もあるようです。こちらでやったことが、そのまま素直に受け取られていないこともあるようです。実際に始められたときは金の問題ではなく、精神的な面の援助であったと聞いて居りましたが

段々とお金で解決するようになってきていると思います。WCSのことはクラブの中で納得して実行したらよいと思います。上田委員プロジェクトが大きくなればなる程、これからこういう傾向が強くなって来るようなこともあるかもしれませんが、これから皆様と討論をしながらきめて行く問題だと思います。時間も無くなりましたので今日はこれで終りたいと思います。亀谷会長本日上田先生の国際奉仕についてのすじ道をたてた立派なお話を伺い、新会員の方もよくお訳かりになったことと思います。私も勉強しました。このこと自体非常にフォーラムとしての価値があったと思います。又本年度の事業は明年度も引き続きやってもらいたいと思います。上田先生ありがとうございました。

## スマイルボックス

綾瀬RC 橋本会員 久しぶりにお伺い致しました、よろしくお願い致します。

大和RC 星 会員 本日もどうぞよろしく。

亀谷会長 富沢幹事 10月30日のガバナー公式訪問に際しては、全員のご協力をいただきまして、ありがとうございました。

中西会員 尊敬する国方会員の入会を祝して。

土屋会員 有沢先生、自転車の件早速会報にのせていただきありがとうございます。どうか会員の皆様よろしくお願い致します。

松本会員 先日、大和栄養士会の依頼で洋菓子講習会を行い、謝礼をいただきましたので。

北砂会員 例会の発表順序をまちがえました。うっかりしました。ごめんなさい。

保田会員 国方会員ご入会おめでとうございます。

